

第2回 熊本県 CALS/EC 推進協議会 議事録

1. 日時

- (1) 日時：平成15年8月21日(木)
- (2) 時間：午後2時から午後4時

2. 場所

熊本県水前寺共済会館 鳳凰の間

3. 出席者

推進協議会会員(別紙1)

4. 式次第

- (1) 熊本県 CALS/EC 推進協議会長(熊本県土木部長)挨拶
- (2) 平成15年度熊本県 CALS/EC 推進協議会のメンバーについて
- (3) 議事

第1回熊本県 CALS/EC 推進協議会の議事録について
熊本県 CALS/EC 推進協議会の傍聴規則(案)について
熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について
その他

- (4) その他

5. 会議結果概要等

(別紙2のとおり)

熊本県 CALS/EC 推進協議会出席者名簿

	所属・役職	氏名	備考
会長	熊本県土木部長	今坂堅三	
副会長	熊本県土木部次長	石橋良啓	
	(社)熊本県建設業協会会長	平川忠継	
委員(県)	企画振興部 情報企画課長	小柳重喜	
	農政部 農地建設課長	花谷良介	
	林務水産部 林政課長	黒田 豊	代理 下林審議員
	土木部 監理課長	川口弘幸	
	土木部 土木技術管理室長	松原 茂	
委員(市町村)	市長会代表	田口信夫(宇土市長)	
	町村会代表	荒木泰臣(嘉島町長)	
委員(業界)	(社)熊本県測量設計・建設コンサルタント協会会長	浦上一成	
	(社)熊本県地質調査業協会理事長	佐藤利吉	欠席
	(社)熊本県建築士事務所協会会長	八木龍平	
	熊本県土地改良事業団体連合会会長	内田敏彦	
	熊本県森林組合連合会会長	松村 昭	代理 松本管理課長
委員 (公益法人等)	(財)熊本県建設技術センター代表	藤川孝次	
アドバイザー	国土交通省九州地方整備局企画部 技術管理課 技術管理課長	兼野修司	代理 柴田課長補佐
	熊本大学工学部 環境システム工学科 教授	小林一郎	
	熊本県立大学総合管理学部 総合管理学科 教授	片岡 勲	

第2回 熊本県 CALS/EC 推進協議会 議事録

問	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
14:00		開会(戸塚土木審議員)				
	1)	挨拶 熊本県土木部 今坂土木部長				
14:10 ~	2)	(1) 平成15年度熊本県 CALS/EC 推進協議会のメンバーについて(事務局)	・委員の変更(5名) 異動等に伴う県関係の委員(小柳、花谷、川口、松原各委員)と(財)熊本県建設技術センター代表の藤川委員に変更 (質疑なし)			資料1
		(2) 議長指名 第1回の推進協議会で規約第7条第2項により、副会長の熊本県土木部 石橋次長を議長に指名しているため、今回の議長は、副会長の熊本県土木部 石橋次長とする。(事務局)				
		(3) 幹事会及び各作業部会の開催経緯について(松原幹事長)	3月14日開催した第1回推進協議会の基本構想策定の実施方針を受け、アンケート調査、各作業部会(9回)及び3回の幹事会を開催し、本日の基本構想(案)の策定を行った。 (質疑なし)			

問	議事	項目	質疑事項	協議概要（回答）	結果	配付資料
14:10 ～	3)	3) 議事 (1) 第1回 熊本県 CALS/EC 推進協議会の議事録について(事務局)	(事務局説明) 推進協議会の傍聴、会議資料及び会議結果の公表について (資料2-1) 推進協議会の進め方について (資料2-2) 基本構想策定の実施方針について(資料2-3) (質疑1) 推進協議会の進め方について 推進協議会開催予定が7月となっているが、実際の開催は8月であり、フォローアップを行っておくべきではないか。	(事務局) 予定より遅れて8月の開催となった。(計画と実施の明記を行う。)	了解	資料2
		(2) 熊本県 CALS/EC 推進協議会の傍聴規則について(事務局)	(事務局) 傍聴規則(案)説明 (質疑なし)		承認	資料3
		(3) 熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について(事務局) ・第1章について	(質疑2) P.3 1-2-2 CALS/EC の導入効果について ・情報の電子化によるメリット“検索時間の短縮”で“受注者”は(該当)するのではないか。 ・通信ネットワークの利用の“維持管理の効率化”で“受注者”が該当しないのはなぜか。	(事務局) 検索時間の短縮のメリットは、受注者も該当者であるため、修正する。 維持管理の効率化は、施設管理者の管理業務における効率化であり、該当者は、施設管理者(発注者)となる。 施設管理者と発注者は、異なるものであり、表記を検討する。	修正する。	資料4

問	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
14:30 ~	3)	(3)熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について ・第3章について	(質疑3) P.15~のアンケート結果の課題整理について、体系的に整理ができないか。	(事務局) アンケートの結果を列記しているため、体系的に整理する。	修正する。	
			(質疑4) 1 町村が未回答であるが、何故か。	(事務局) 最終的に未回答であった。		
			(質疑5) 業界側の課題について、他にないのか。	(業界) 業界でも真剣に取り組んでいるが、会員の中でもかなり温度差があるのが実態である。 基本構想案をもとに、会員への説明を行っていきたいと考えている。		
			(質疑6) 市町村に対しての説明をどの様に進めていくのか。	(事務局) 市長会及び町村会事務局へ、市町村の対応についての体制づくりをお願いしている。HP での基本構想(案)の公表、市長会や町村会事務局への説明を行うことは考えている。 市長会や町村会事務局と協力しながら、さらに、他の市町村からの意見を聞き、基本構想(案)に反映する。	・説明会開催する。 (市長会及び町村会事務局と連携)	
			(質疑7) 全体的にわかりやすい表現に工夫をして欲しい。	(事務局) わかりやすい表現若しくは脚注説明等の工夫をしていく。		

問	議事	項目	質疑事項	協議概要（回答）	結果	配付資料
	3)	(3)熊本県 CALS/EC 基本構想 (案)について ・第3章について	(質疑8) 地元業者育成と CALS/EC の導入をどの様に考えているのか。 また、市町村の CALS/EC の導入についてどの様に考えているのか。	(事務局：監理課) 電子入札の実施に当たり、地域を絞る様なことは考えていない。 業界への適用については、順次段階的に展開していくことを考えている。 また、市町村においても、体制等の整備状況により、順次運用市町村を拡大していくスケジュールを策定する。		
			(質疑9) P.17 の市町村への導入支援とは何か。	(事務局) 技術的支援とシステムの共同構築・運用等の費用軽減等である。 表記について、具体的に記述を行う。	修正する。	
	(3)熊本県 CALS/EC 基本構想 (案)について ・第4章について	(質疑10) 導入時期の関し、県と市町村の時期が異なるのは何故か。(導入時期は一緒でいいのではないか。)	(事務局) 市町村の導入にあたっては、環境等の体制が整い次第、導入する工程スケジュールとしている。			
		(質疑11) CALS/EC で予算等の財務的なものがわかるシステムは何かあるのか。	(事務局) P.27 に入札・契約関係の電子入札システムにおいて、既存の予算関連システムと連携する予定である。			
		(質疑12) 公共事業に係る情報公開について、開示請求は多いのか。	(事務局) 情報公開条例に基づき情報開示を行っている。 関心をもっている人は多い。			

問	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
		(3)熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について ・第4章について	(質疑13) 行政情報を全て提供(公開)すると誤解されないように何らかの評価が必要ではないか。	(事務局) 公共事業に係る全ての情報を公開する事ではない旨の表現にする。	追記する。	
			(質疑14) 電子データの利活用について議論を行い、それを踏まえて電子納品を行うことが必要ではないか。	(事務局) 情報の利活用を踏まえた電子化、電子納品については、認識をしており、電子納品部会等で検討を行っている。 今後、必要に応じ、利活用に係る作業部会の体制整備を考えていきたい。	追記する。	
			(質疑15) 作業部会等の開催状況等に係る情報の入手はできるのか。	(事務局) 推進協議会・幹事会・各作業部会の掲示板により情報提供を行うシステムを構築しているが、十分機能していないので、利用マニュアル等により周知を図っていく。		

問	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
	3)	(3)熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について ・第4章について	<p>(質疑16) 県と市町村の各フェーズの取組み期間及び運用時期に相違があるのはなぜか。</p>	<p>(事務局) 市町村合併問題等により取組み時期については未検討のところが多く、本運用までにはある程度の期間が必要であること。 また、県との共同開発や県が先導的に導入を進めて欲しい旨の市町村の要請があること。 以上の状況を踏まえ、県が先導的な導入を進めたい。 しかし、条件が整った市町村は県と同様な工程で導入が出来る計画(整備スケジュール)とする。</p>		
			<p>(質疑17) P.25 表 4-2 の市町村の本運用時期について、一部運用時期が県と市町村で同じであるため、本格運用も県と同じではないか。 意欲のある市町村が早い時期に取り組みできるようにしたらどうか。</p>	<p>(事務局) 条件が整った市町村は、県と同様なスケジュールで取組みが出来るような表記に修正する。</p>	修正する。	
			<p>(質疑18) P.34 及びP.35 の県及び市町村の整備スケジュールをひとつにまとめられないか。</p>	<p>(事務局) 検討し、修正する。</p>	修正する。	

問	議事	項目	質疑事項	協議概要（回答）	結果	配付資料
~ 15:30	3)	(3)熊本県 CALS/EC 基本構想(案)について ・第4章について	<p>(質疑19) 電子入札や電子納品の本格運用までは、紙と電子データの併用となるが、十分な普及・啓発を行い、本運用時期には、紙と電子の併用をなくしていくことが必要である。 また、本来 CALS/EC が目指すものは、情報の共有・連携であり、電子納品や電子入札のみが CALS/EC ではないことを十分理解しておく必要がある。</p>	<p>(事務局) 第1段階は、電子入札と電子納品のシステムの実働化を目標とし、第2段階で、そのシステムや既存のシステムとの連携化を図る。 第2段階の実現により、CALS/EC が目指す情報の共有・連携さらに再利用が可能となる。 また、既存システムとの連携は、あくまでも内部システムの連携であり、全ての情報を公開することではない旨の表記を追記する。</p>	修正する。	
			<p>(質疑20) CALS/EC に対する対応ができない企業の取り扱いをどう考えているのか。 また、企業が必要とする環境整備に係る費用はどの程度必要なのか。</p>	<p>(事務局) CALS/EC の費用対効果について啓発を行っていく。 本格運用までの準備期間を確保すると共に、その期間に、県としても、研修等を行う等の企業に対する支援を行っていく。</p>		
				<p>基本構想(案)については上記の処理を行い、その結果を各委員に配布する。</p>		

間	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
時間	議事	項目	質疑事項	協議概要(回答)	結果	配付資料
16:00	4	4.その他 1)今後のスケジュールについて	<p>今後のスケジュールについて(事務局)</p> <p>基本構想(案)に県民の意見を反映するため、意見の募集の手続きを進め、10月末にその結果を踏まえた基本構想を、再度推進協議会に諮りたい。</p> <p>また、市長会及び町村会と連携し、市町村に対する説明会を進めていく。</p>			
		閉会(戸塚土木審議員)				